

講演者プロフィール、講演概要

| | |
|--------|--|
| テーマ | 『成果を生み出す』という仕事、Disruptive era を生き抜く PM カ |
| 講演者 | <p>武上 弥尋 (たけがみ やひろ)</p> <p>PMI 日本支部 理事</p> <p>日本アイ・ビー・エム株式会社 Watson Service, Tokyo SW Dev. Lab.</p> <p>IBM Certified Executive Project Manager, PMP, CSM</p> |
| プロフィール | <p>PMI 日本支部理事、国際連携委員会・本部担当</p> <p>2000 年 公共・公益・医療 サービス担当マネジャー</p> <p>2003 年 運輸業 統合プロジェクト PMO マネジャー</p> <p>2004 年 官公庁 アウトソーシング 統括プロジェクトマネジャー</p> <p>2009 年 日本 IBM 全社 PM プロフェッションリーダー</p> <p>2011 年 製造業 アウトソーシング 統括プロジェクトマネジャー</p> <p>2013 年 アイエス情報システム株式会社 執行役員 (出向)</p> <p>2015 年 金融業 アウトソーシング 統括部長、アソシエイト・パートナー</p> <p>2016 年 10 月より現部門</p> |
| 講演概要 | <p>Disruptive Innovation が世界レベルで進行する中、管理だけではない、成果を生み出すプロジェクトマネジメントが期待されています。基本である「決められた範囲を品質良く納期どおりに構築」は重視しつつも、ビジネスでの変化に応える柔軟さや俊敏さを、実践してみせ成果や価値を生む。そのことが過去の比ではない程に課題であり、渴望される時代にあります。ではそれはどうすれば実現できるのか？</p> <p>鉄道型から前人未踏型・ドライバー型へ。今までの頭に縛られず、枠をとりはらって物事を考える、分母を大きく捉えたプロジェクトマネジメントが鍵となります。例えば、変更を是と捉え、柔軟にトレードオフするマネジメント。コラボレーションの異業間・質的拡大で、新たな価値を創造するオープン・イノベーション。企画者と開発者、ユーザーとベンダー、発注者と受注者など、相互の意識改革。ステークホルダーの理解・合意・・・等々。いずれも難しさはあり、チャレンジは本人の選択次第ですが、機会を求め飛び込めば、解決のヒントは様々な形で得られるものです。</p> <p>PMI は、それらのチャレンジに応え、PM に生き抜く力を与える、様々なアセットや機会を豊富に提供しています。AI という新たな分野で、それらの活用を試みてきた実践も踏まえ、今後求められる PM のあり方や活用すべき PMI の知見について、日本支部創立 20 周年という機会を通じて、共有していきたいと思ひます。</p> |